

このたび、 障碍児用中古車椅子贈与計画の供与式に出席することを嬉しく思います。今回供与する車椅子は、提供して下さった多くの関係者と、輸送、整備のための資金を提供した日本国民、そして今回のプロジェクトを実施した NGO ひまわりの会の協力により、今日ここに届きました。

日本では、かつては障碍を持つ方々の活動の場は非常に限定的であり、自分の望む仕事に就いたり、運動をしたりすることは難しかった状況でした。その後、一人一人の自立に向けた努力と、バリアフリーのための公共インフラの整備などが進み、現在では障碍を持つ多くの方が様々な分野の第一線で活躍しています。

例えば、車椅子テニスで活躍する国枝慎吾さんは、9歳のときから車椅子を必要としてきましたが、12歳のときから車椅子テニスをはじめ、今では世界屈指の名プレイヤーです。過去のパラリンピックでは3回金メダルに輝き、世界四大大会ではなんと19回優勝しています。最近行われた全仏オープンでもシングルス・ダブルスの両方で優勝しました。

障碍を持つ子供達が、自分たちの成長にあった車椅子などの道具を使って自立することはとても重要で、その点でこのプロジェクトは非常に意味のあるものと考えます。今回のプロジェクトをきっかけとして、この車椅子を使う子供達が自分たちの意思で自分たちの望む道を選び、それぞれの道で活躍できることを期待しています。

2020年には、東京でオリンピックとともにパラリンピックも開催されます。この車椅子で育った子供達の中から、ペルーの代表として日本でプレーする選手が出てくることを私は楽しみにしています。

ありがとうございました